

	科目名	単位数	内容
1	病気・人間・社会	2	病理専門医であり病理診断や病理解剖などの実務経験をもつ教員が、病気を人間、社会と関連づけて概説する。
2	居住福祉論	2	民間コンサルタントで22年間、住宅政策や福祉のまちづくりのコンサルティングに携わっていた経験をふまえ、高齢者にとって優しく快適で安全・安心な住環境整備方策について講述する。
3	児童家庭福祉論	2	保育カウンセラー、小学校、中学校でのSCとして学校現場等に入っている教員がその経験を活かして、今日的な課題(いじめ問題、虐待、不登校等)への制度、対応について指導を行う。
4	高齢者福祉論	2	高齢者福祉施設・機関の生活相談員やソーシャルワーカー、介護支援専門員などとして勤務した経験を生かし、高齢者等へのソーシャルワークの実践的内容を含めた授業を行う。
5	地域福祉論Ⅰ	2	社協で専属アドバイザー(CSW教育・育成)を行っていた経験を生かした事例などを多用します。
6	地域福祉論Ⅱ	2	社協で専属アドバイザー(CSW教育・育成)を行っていた経験を生かした事例などを多用します。
7	国際福祉論	2	教員は社会福祉士であり、外国人支援機関での実務経験があり、豊富な事例を授業で検討することが可能である。
8	共生社会論	2	約半数の回で該当する。
9	社会的起業論	2	児童家庭支援センターや児童養護施設を創設して、実際に運営している経験を活かし、組織マネジメントの要諦について議論を深める
10	スクールソーシャルワーク論	2	小学校、中学校でのSCとして学校現場に入っている教員がその経験を活かして、今日的な課題(いじめ問題、虐待、不登校等)への制度、対応について指導を行う。
11	ケア概論	2	介護福祉士(6年)
12	保健医療と福祉	2	急性期病院の社会福祉士としての医療ソーシャルワーカー実務経験のある教員が、患者・家族に必要な社会保障制度と医療ソーシャルワーク実践について講義する。
13	更生保護論	2	該当あり。保護観察官
14	社会福祉管理運営論	2	社会福祉協議会で管理職・業務執行理事として社会福祉事業の管理運営に携わった教員が、その経験を活かし事業のマネジメントの概要、理論、方法等について講義する。
15	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	教員は社会福祉士であり、外国人支援機関での実務経験があり、豊富な事例を授業で検討することが可能である。
16	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	教員は社会福祉士であり、外国人支援機関での実務経験があり、豊富な事例を授業で検討することが可能である。
17	ソーシャルワーク論Ⅲ	4	児童福祉分野、高齢者・医療福祉分野等々の現場を経験した教員等がその経験を活かし、事例を含む授業内容を展開する。
18	ソーシャルワーク論Ⅳ	4	小学校・中学校でのスクールカウンセラー他に携わった教員が、その経験を通して、コミュニケーションの方法をより具体的に考察する。社会福祉現場で活躍するゲストスピーカーによる講義の予定あり。
19	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	施設、病院等々の現場を経験した教員等がその経験を活かし、基本的なコミュニケーションの取り方、対応について指導を行い、スーパービジョンのあり方についても指導する。
20	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	実習指導等に携わった教員がその経験を活かし、今日的な課題(虐待、ひきこもり、貧困、認知症、終末期ケア、災害時、その他の危機状態にある事例、権利擁護活動を含む等々)について、具体的なソーシャルワークの場面及び過程を想定した実践指導を行う。また、地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を活用し、実践指導

	科目名	単位数	内容
21	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1	地域福祉領域等での実務経験がある教員が担当する。
22	ソーシャルワーク実習	6	実践現場で相談援助に従事した教員が福祉現場の実状を踏まえて、相談援助の具体的なプロセスを教示し、個別に指導する。
23	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	実践現場で相談援助に従事した教員が福祉現場の実状を踏まえて、相談援助の具体的なプロセスを教示し、個別に指導する。
24	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	実践現場で相談援助に従事した教員が福祉現場の実状を踏まえて、相談援助の具体的なプロセスを教示し、個別に指導する。
25	ソーシャルワーク特別講義B	1	フィールドワークにおいて、地域の課題に取り組む実践者や地域住民との交流を通して、地域課題解決に向けた実践について学ぶ。
26	法学概論	2	弁護士としての実務経験から、その条文や制度が立法時に想定された趣旨目的に限らず、現実の社会の中で実際にどのように使われどのような機能をしているか、そのルールがなかったり違ったら社会がどう変わるかを指摘しながら講義を進めま
27	現代人権論	2	第7回 藤野氏：つるがCAP代表(デートDVについての授業) 第8回 木村氏：フルード代表(ひとり親支援についての授業)
28	権利擁護を支える法制度	2	教員は法人後見受任団体の構成員(理事)であり、成年後見制度利用促進基本計画における中核機関の委員である。福井県社会福祉協議会における日常生活自立支援事業の契約締結審査会委員である。
29	医学概論	2	病理専門医であり病理診断や病理解剖などの実務経験をもつ教員が、人体の構造と機能さらに傷病論など医学全般について概説する。
30	発達心理学	2	子ども家庭相談業務に10年間従事および小中学校スクールカウンセラーとして従事してきた知識、技術等の実務経験を生かし、子どもの心身の発達について解説する。
31	心理学概論	2	公認心理師・臨床心理士の資格をもち、心理相談業務の経験のある教員が、その経験を通して心理的支援の方法をより具体的に考察する。
32	精神医学	4	精神医療、保健福祉領域で実践経験をもつ教員が担当する。
33	精神保健Ⅰ	2	地域保健に関連する機関に従事していた経験を活用し、担当科目を講義する。
34	精神保健Ⅱ	2	地域保健に関連する機関に従事していた経験を活用し、担当科目を講義する。
35	精神障害リハビリテーション論	2	社会福祉専門職として、精神科病院において精神保健福祉業務に従事していた経験を活用し、担当科目を講義する。
36	精神保健福祉の原理	4	行政機関(保健所等)や精神科病院において、精神保健福祉業務に従事していた経験を活用し、担当科目を講義する。
37	精神保健福祉制度論	2	行政機関(保健所等)、精神科病院において、精神保健福祉業務に従事していた経験を活用し、担当科目を講義する。
38	精神保健ソーシャルワーク論	4	精神科病院でのソーシャルワーク実践の経験をもとに、担当科目を講義する。
39	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	ソーシャルワークの実践経験がある教員が、事例を題材にして実践スキルを教授する。
40	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	ソーシャルワークの実践経験がある教員が、事例を材料に実践スキルを教授する。

